

第2回 天神川圏域県管理河川の減災対策協議会 議事概要

1 日 時 : 平成30年2月8日(木) 14時~15時10分

2 会 場 : 中部総合事務所B棟2階202会議室

3 出席者

(委員)

倉吉市長 石田 耕太郎

三朝町長 松浦 弘幸

湯梨浜町長 宮脇 正道

琴浦町長(代理) 総務課長 遠藤 義章

北栄町長(代理) 総務課長 手嶋 俊樹

鳥取中部ふるさと広域連合 消防局長 芦崎 理千

気象庁 鳥取地方气象台長 真木 敏郎

国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所長 神宮 祥司

鳥取県 危機管理局長(代理) 副局長 國米 洋一

鳥取県 企業局長 湊 正彦

鳥取県 県土整備部長 山口 真司

鳥取県 中部総合事務所県土整備局長 竹森 達夫

(オブザーバー)

国土交通省 中国地方整備局 河川部

4 議題

(1)規約改正について

(2)前回協議会の議事概要及び幹事会の報告について

(3)千代川圏域県管理河川の減災に係る取組方針(案)について

5 議事概要

- 水防法改正に係る規約改正(案)について承認。
- 前回協議会の議事概要及び幹事会での協議内容を報告するとともに、これらを踏まえてとりまとめた「減災に係る取組方針(案)」について説明し、承認。
- 個別課題について、代表地域において、国・県・関係市町村が連携して検討会やワーキンググループでモデル的に検討を行い、協議会・幹事会の場で検証・情報共有のうえ取組拡大していくことを確認。

(主な意見)

- 避難訓練等が出てきた課題に対して、照明などハード系のことも含めて対応が可能な補助等があれば良い。
- 本圏域の温泉地などの観光地は河川に近接している箇所が多いこと、また、外国人労働者が増加していることから、観光客や外国人に対する情報提供や避難誘導についても考えていく必要がある。
- 県としては、危機管理部局と福祉部局、県土部局が連携して、講演会や研修会を開催するなど、支え愛マップづくりの推進に取り組んでいく。
- 支え愛の取組については、危機管理部局、福祉部局の両方が関わっていく必要がある。
- 避難行動につながる避難情報を出したいが、早く出し過ぎても誰も避難しない、真夜中になると危険な避難となるなど、判断や運用が悩ましい。
- 内水対策について、ハード対策、ソフト対策とも各管理者が連携した取り組みをお願いしたい。